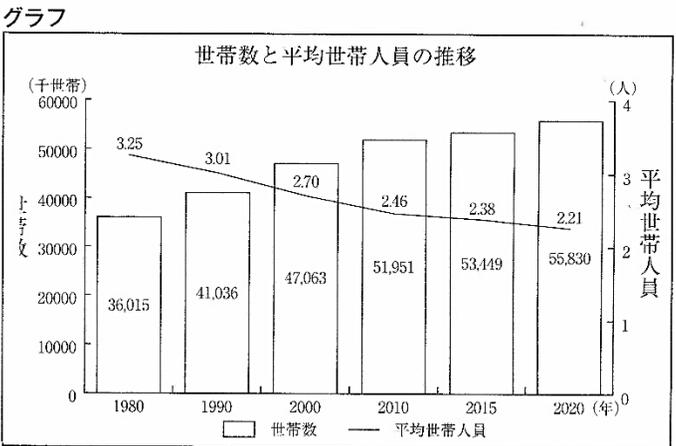


問五 中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、「総合的な学習の時間」で行われる発表に向けて、「世帯数と平均世帯人員の推移」について調べ、話し合いをしている。次のグラフ、資料と文章は、そのときのものである。これらについてあとの問いに答えなさい。



「日本国勢図会 2022/23」より作成。

資料

〔世帯〕  
日本の世帯は、高度経済成長期以降に地方から大都市へと若年人口の移動が続いたことで、核家族世帯や一人暮らし(単独)世帯が増えた。近年は少子高齢化が進み、高齢者の一人暮らしが急速に増えている。二〇二〇年の国勢調査によると、六五歳以上の一人暮らし世帯は六七二万世帯となった。これは、六五歳以上人口のおよそ一九・〇%を占め、前回二〇一五年調査時の一七・七%を上回った。二〇二〇年現在、高齢者の五人に一人は一人暮らしという状況になっている。

〔日本国勢図会二〇二二/二三から。〕

- Aさん 私たちのグループは、「世帯数と平均世帯人員の推移」を取り上げるといことに決めました。まず、世帯数と平均世帯人員の推移を表したグラフを見てみましょう。
- Bさん はい。このグラフからは、ということがわかります。
- Cさん 興味深い結果ですね。なぜそのようになっていくのかを考えましょう。
- Aさん 資料の文章を読んでみましょう。核家族というのは、夫婦とその結婚していない子どもから構成される世帯のことを指します。この世帯が高度経済成長期以降に増えたと書かれていますね。
- Cさん 高度経済成長期は、一九五五年頃から七三年頃までを指しますね。この時期は、経済が急成長し、国内総生産を、物価の変動を考慮に入れた実質値で見た場合、十%超も成長していたこともあるようです。生産は所得や支出と同値となるので、この時期は国民の所得が十%超伸びていたとも考えられます。
- Bさん いい時代ですね。なぜこの時期には地方から大都市へと若年人口の移動が続いたのでしょうか。
- Cさん それは、労働者の不足によるのだと思います。好況の時期は、需要が供給より多いため、ものを多くつくることができます。それだけ売ることができるからです。つまり、地方から都会に出てくる若年人口が多かったのは、都会で働き口を探すためだったことだと思います。
- Bさん なるほど。経済成長をする時期にあつて、人々の生活様式が変わってきたんですね。
- Cさん そうだと思います。
- Dさん 一人暮らしの世帯が増えたことについても考えてみましょう。資料には、高齢者の一人暮らしが増えたことが書かれています。
- Bさん これは、核家族化との関連があると思います。つまり、それまでの価値観であれば、夫婦と子どもその他に、夫婦いずれかの両親とも暮らすことが普通でした。それが、核家族化により、夫婦の両親とは住まなくなりました。

Dさん その中で高齢者の一人暮らしの世帯が増えたということですね。  
 Bさん そういうことだと思います。  
 Dさん ただ、私自身は高齢化自体はいい傾向だと思えますよ。平均寿命が伸び、人が長生きできるよ  
 うになったことを表すとも考えられます。

Bさん そういう見方もありますね。身近な人が長生きしてくれるのは、とてもうれしいことです。  
 Aさん 高齢者だけでなく、若年層の世帯についても考えてみましょう。先程は核家族化の話題が出  
 ましたが、一世帯あたりの人数が変化した原因を他に何か思いつきますか。

Cさん はい。私は、未婚化や晩婚化が増えたということを知っています。こういう理由から  
 若者の一人暮らしが増えているとも考えられます。

Bさん それは、結婚に対する人々の考え方の変化を反映しているとも思いますし、生活様式が昔と異  
 なっているからだとも思います。現在の社会には、さまざまな価値観や生活様式が生まれました  
 からね。

Aさん そうかも知れません。それでは、今日の話をもとめていきましょう。世帯数が増える一方で平  
 均世帯人員が少ない原因は、 ということにあると考えられます。

(ア) 本文中の に入れるものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。  
 1 一九八〇年と二〇二〇年を比べたとき、世帯数は二〇二〇年の時点で一九八〇年の数より五割程度  
 増えており、平均世帯人員は二〇二〇年の時点で一九八〇年の数の約六割である

2 一九八〇年と二〇二〇年を比べたとき、世帯数は二〇二〇年の時点で一九八〇年の数より二千万世  
 帯以上増加し、平均世帯人員は二〇二〇年の時点で一九八〇年の数より三割程度減っている  
 3 一九八〇年と二〇二〇年を比べたとき、世帯数は二〇二〇年の時点で一九八〇年の約百六十パーセン  
 ト以上となり、平均世帯人員は二〇二〇年の時点で一九八〇年の数の約七十パーセントに減っている

4 一九八〇年と二〇二〇年を比べたとき、世帯数は二〇二〇年の時点で一九八〇年の数の一・五倍以  
 上になり、平均世帯人員は二〇二〇年の時点で一九八〇年の数に対して一人以上減っている

(イ) 本文中の に適する「Aさん」のことを、次の①～④の条件を満たして書きなさい。

- ① 書き出しの世帯数が増える一方で平均世帯人員が少ない原因は、という語句に続けて書き、文  
 末の ということにあると考えられます。という語句につながる一文となるように書くこと。
- ② 書き出しと文末の語句の間の文字数が二十五字以上三十五字以内となるように書くこと。
- ③ グラフと資料からそれぞれ読み取った内容に触れていること。
- ④ 「一世帯あたりの人数」「変化」という二つの語句を、どちらもそのまま用いること。

(イ)	
<p style="text-align: center;">世帯数が増える一方で平均世帯人員が少ない原因は、</p>	<div style="border: 1px dashed black; height: 100px; width: 100%;"></div>
35	25
<p>ということにあると考えられます。</p>	